令和
5 年度

COMPASS 発達支援センター松茂

事業所における自己評価結果（公表）

討議日：令和 5 年 10 月 26 日
公表日：令和 6 年　2 月 26 日

	チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切である	6	1	整理整頓を心がけて適切な活動スペースを確保するとともに、日々職員で話し合い、その日の利用児童に合わせて臨機応変に空間対応できるように努めています。	今後も、適切なスペースの確保と環境整備に努めてまいります。
	2	職員の配置数は適切である	5	2	基準配置を上回る職員数を保ち、一人ひとりにしっかり関わることのできる体制を作っています。	児童数に応じて今後も適切な人員を配置・確保して運営してまいります。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。 また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	4	利用児童の特性に応じた視覚支援や年齢発達に応じたものの配置・導線作りに努め、定期的に見直しをおこなっています。 構造的に段差は少なく、概ねバリアフリーになっています。	今後も、利用児童一人ひとりの特性に応じた環境作り・配慮をしていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、児童たちの活動に合わせた空間となっている	7		営業時間の前後・昼に施設内の消毒清掃と換気をおこない、療育終了後もしくは翌日には使用教材の除菌を実施し、清潔を保っています。	
業務改善	5	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	1	毎日、サービス提供時間前に全職員で集まり、利用児童の支援について話す時間を設けています。 また、定期的に会議をおこない、評価や課題分析・日々の振り返りや業務改善についても話し合い共通理解に努めています。	今後も同様に PDCA サイクルによる業務改善に全職員で努めてまいります。
	6	保護者様向け評価表を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者様の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		毎年アンケートを配布し、ご意見やご意向を把握することにより、改善につなげています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者様向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1	COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。	今後も公式 Web サイトで公開してまいります。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	5	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1	定期的な研修を実施し、職員の資質の向上の機会を確保しております。	今後も本社作成の動画の視聴研修やオンライン研修、その他ケース会議などで勉強会を継続し、外部研修にも積極的に参加してまいります。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、児童と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		アセスメントを適切におこない、児童の特性や状況、保護者様のご意向に基づいて児童発達支援計画を作成しております。	今後も継続してアセスメントツールを活用し、児童の状況把握に努めてまいります。
	11	児童の適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		標準化されたアセスメントツールを使用し、状況の把握に努めております。	今後も継続して児童の状況把握に努めてまいります。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7		児童発達支援ガイドラインを踏まえ、具体的な支援内容を設定された支援計画を作成しています。 また、関係機関と連携し情報共有に努めてまいります。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	2	支援計画について職員間で共通認識を図り、充実した支援につなげております。	今後も継続して職員間で共通認識を図りながら、より充実した支援に繋げてまいります。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1	季節にあったものを取り入れるなど職員間で話し合い、全員がチームとなって立案しております。	今後も継続して、全職員間での話し合いを密にし、さまざまな観点からプログラムを立案してまいります。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	1	児童の状況に合わせ、個別療育のほか、イベントや毎月の製作・集団活動も取り入れ、活動が固定化しないように工夫しております。	今後も継続して個別と集団を組み合わせながら、プログラムが固定化しないよう工夫してまいります。
	16	児童の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	6	1	個別療育を基本とし、集団活動も取り入れた児童の特性に応じた支援計画を作成しています。	今後も、保護者様ともご相談のうえ、児童の特性に応じた個別の活動を組み合わせた発達支援計画を作成してまいります。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		その日の役割分担等については職員間で必ず確認してまいります。 また児童の様子についてもそのときどきで伝え合いながら、共通認識を図っております。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	4	支援終了後の話し合いは送迎、勤務体制により難しい場合もあるため、ミーティングノートを活用したり、できるだけ翌日には児童についての共通認識を図れるようにしています。	今後も継続して共通認識に努め、報告、連絡、相談を丁寧におこなってまいります。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		支援内容やその日の体調、様子を記録し、気になったことは職員間で周知し、ミーティングノートを活用して支援の改善や検証に取り組んでおります。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7		定期的にモニタリングをおこない、現状を把握して見直しの必要性を判断しております。	
関係機関や保護者様との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその児童の状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		対象児童について、事前に職員間で話し合い、現状把握のうえで、児童発達支援管理責任者が担当者会議に参画しております。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	2	関係機関等とは電話連絡等で支援方法についての相談など連携をおこなっております。	今後も継続して、関係機関と積極的に連携を取り、相談や支援ができるよう努めてまいります。
	23	（医療的ケアが必要な児童や重症心身障がいのある児童等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	6	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	24	（医療的ケアが必要な児童や重症心身障がいのある児童等を支援している場合） 児童の主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	6	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	2	必要に応じ、保護者様の同意を得て支援の見学や情報共有をおこない、相互理解に努めております。	今後も必要に応じ、保護者様の同意を得て支援の見学や情報共有をおこないながら、相互理解に努めてまいります。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	2	専門機関と連携し、必要時には相談できる体制を整えております。	今後も対象となる児童が就学等で移行する際には、保護者様の同意を得て、支援の見学や、情報共有をおこないながら、相互理解に努めてまいります。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	4	コロナ禍でもあったため、外部での研修参加は控えさせていただいていましたが、オンライン研修への参加は積極的に参加させていただいております。 また専門機関と連携し、必要時には相談できる態勢を整えております。	今後も同様に専門機関や他事業所との連携を図り、助言や機会があれば積極的に研修に参加し、療育に活かしてまいります。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流などの外部の児童と活動する機会がある		7	コロナ禍でもあり、事業所内や、外部児童と活動する機会はありませんでした。	今後は保護者様の意向を伺いながら、個人情報をふまえて今後の課題とします。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	6	コロナ禍でもあったため、外部での研修参加は控えさせていただいていましたが、オンラインでの参加へは積極的に参加させていただいております。	研修へは積極的に参加していく予定にしております。
	30	日頃から児童の状況を保護者様と伝え合い、児童の発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		送迎時や連絡帳のやりとりなどで保護者様とお話をする機会を作り、児童の発達の状況や課題について共通理解を図っています。	
	31	保護者様の対応力の向上を図る観点から、保護者様に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	4	3	送迎等の機会に保護者様のお悩みやお困りごとをお聞きし、必要な助言や効果的な支援方法等をその都度お伝えするように努めております。 また療育上必要でご家庭での協力が仰げるものはご提案し、可能な限り取り組んでいただいております。	今後も保護者様との普段からの何気ない会話や児童の状況についての話し合いを多く持ち、お気軽に相談していただける信頼関係を大切にしてまいります。
保護者様への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		保護者様に分かりやすいように丁寧なご説明をおこなっております。 また契約時のみならず保護者様のご要望があるときは、再度分かりやすく丁寧に説明しています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者様から児童発達支援計画の同意を得ている	7		保護者様のご意向や、児童の特性、ご家庭の状況を踏まえ、ガイドラインに基づいて作成した支援計画は分かりやすい内容の説明を心がけ、保護者様の同意を得ています。	
	34	定期的に、保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		連絡帳または送迎時を利用していつでもお話していただけるように日頃からのコミュニケーションを大切にしています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催したりするなどにより、保護者様同士の連携を支援している		7	コロナ禍でもあり実施してはいません。 保護者様の希望も伺いながら、今後保護者様同士の連携の場を提供していけるように活動の支援をさせていただきます。	保護者様のご理解や、プライバシーに配慮しながらご意向を踏まえ、交流の機会を検討してまいります。
	36	子どもや保護者様からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、児童や保護者様に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		日頃からすぐに職員間で共有できるように体制を整えており、ご相談や申し入れに対して迅速に対応できるように心がけております。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を児童や保護者様に対して発信している	7		公式 Web サイトのブログにて事業所の様子をお伝えしています。 また COMPASS だよりを年 4 回季刊発行しています。 連絡帳で行事予定やおしらせ、毎月の様子を写真とともに分かりやすく事業所だよりとして掲載、配布しております。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7		個人情報に関する書類は鍵付き書庫で保管し、取り扱いには十分配慮しています。 情報使用時には必ず保護者様に同意を得ています。	
	39	障がいのある児童や保護者様との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		保護者様の状況、また児童の特性や状況に応じた配慮を心がけ、意思の疎通や、情報伝達に努めております。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		7	現時点では事業所行事に地域住民をご招待するような企画は行えていません。	今後保護者様のご理解やプライバシーに配慮しながらご意向を踏まえ、交流の場を検討してまいります。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者様に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7		各種マニュアルは壁面に提示して保護者様に手に取ってご覧いただけるようにしています。 また、定期的に児童とともに避難訓練を実施しております。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		避難訓練は児童も参加して、定期的に実施しております。 連絡帳のカレンダーで、前月に実施予定日をお知らせし、避難訓練の様子は当日は口頭や、連絡帳記載にてお伝えし、次月の連絡帳カレンダーを通じてもご紹介しております。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の児童の状況を確認している	7		アセスメントで丁寧に聞き取り、職員全員で周知徹底しています。	今後も同様に児童の情報を更新しながら、現状把握に努めてまいります。
	44	食物アレルギーのある児童について、医師の指示書に基づく対応がされている	5	2	現在指示書がある児童は在籍していませんが、アセスメントや保護者様に確認をおこない、利用児童のアレルギーについては全職員が把握し、対応できるようにしています。	今後も同様に児童の情報を更新しながら、現状把握に努めてまいります。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1	ヒヤリハット事例が発生した場合、詳細に記録し職員間で共有しています。 定期的に振り返りをおこない、再発防止と事故の未然防止に努めています。	今後も同様に記録を残し、事故防止に努めてまいります。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	1	事業所内で職員研修を実施し、虐待防止について周知に努めています。	今後も継続して虐待防止研修を行い、外部研修へも積極的に参加してまいります。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、児童や保護者様に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7		現在の利用児童には身体拘束が必要なケースはございません。 利用契約書には身体拘束の禁止を記載しており、生命または身体拘束を行う場合は、あらかじめ文書により保護者様の同意を得ております。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。